



# 園長便り



2019年5月31日発行  
セブンスデーアドベンチスト石川教会付属 石川三育保育園

最近読んだ本に書いてありました。専門家による最近の4つの親業の在り方について引用してみます。

**1. 権威主義的子育て** この種の親は、子どもたちは例外なく規則に従うべきであると思ひ、問題解決に当たらせ、障害を克服しようとは思いません。代わりに、彼らは規則を作り、子どもの意見をほとんど顧みないで結果を強いることとなります。権威主義的両親は、交渉に関心なく、焦点は従順です。結果として彼らは、しつけの代わりに罰を用いるかもしれません。より良い選択の仕方を子どもに教えるといことではなく、彼らは、子どもが自分の過ちに苦しむようにさせることに焦点を合わせています。

厳格な権威主義的な両親の下で成長した子どもたちは、たいていの時に規則に従う傾向にあります。自分に自信を持っていない問題を抱え続けるかもしれません。その結果、敵対心を抱き、好戦的になります。別を避けるために条件反射的に嘘をつくので、嘘がうまい人になるかもしれない、という研究がなされています。

**2. 信頼できる民主的な子育て** このような育て方をする両親は、自分の子どもと積極的な関係を持つように努め、彼らの規則の後ろ盾になる理由をまず説明していきます。それから彼らは、諸規則を実施し、その後先の重要性を教えます。権威を保ちながら信頼感あふれる子育てをしている両親は、人生の教訓を教える論理的帰結をよく用い、また肯定的なしつけ方法を用いて、態度に関する問題を防止し、良い行為を強化していきます。

権威をもって民主的にしつけられた子どもたちは幸福になり、成功する傾向にあります。彼らは、意思決定の話し合いの中で育てられているので、問題解決において自分で意思決定をし、安全性リスク（安全性を維持すること）を査定することが得意になっていきます。民主的な両親を持つ子どもたちは、意見を表明するのに快適さを感じる責任を負える大人になっていくという調査がなされてきました。

**3. 許容的かつ受動的子育て** 許容的な両親は、規則をもうけても規則を強いることはめったになく、規則に違反したら、結果を課していきます。このような両親は、子どもたちがしていることに干渉しなければ、子どもたちは最良な学び方をしていくであろうと信じています。

許容的な両親は大目に見る人で、たまに深刻な問題がある時のみ、口をはさみます。ごくまれに大切なことを述べるときでさえ、彼らの子どもが乞い求めるか、良い子で

いると約束するなら受け入れます。このような両親は、子どもの友になりたいと思っていますが、その行程において、彼らの親であるという意識が欠けているのです。

許容的な両親のもとで成長した子どもたちは、勉学に困難さを覚えます。両親が、お粗末な選択やひどい行為をやめさせるよう、大きな努力を払っていないからです。このような子どもは、権威や規則を評価するよう教えられていないので、さらに行動において問題をあらわにするかもしれません。こういう子どもたちは、自尊心が低いことで苦しみ、悲しい感情が長引いていると訴えるかもしれません。

このような精神態度は、彼らを肥満のような健康問題に関して大きなリスクを与えることになるかもしれません。なぜなら許容的な両親がジャンク・フード摂取を抑えるよう骨折っていますが、歯磨き、入浴、清潔な衣類を着るといった衛生的な習慣を必ずしも教えてこなかったという理由があげられます。

**4. 無関心で放任的な子育て** 放任的な両親は、ほったらかしていると思われがちです。彼らは子どもに学校や宿題について尋ねることもなければ、どこにいるのか、誰と一緒にいるのかわかっていません。一般的な言い方をすると、多くの時間を子どもと過ごそうとしていないのです。放任的な両親は、子どもたちが自分で成長するのを期待しています。彼らは、子どもたちの基本的な必要に応じるために時間もエネルギーも注ぎ込むことができないでいます。

親はどうしてそれほど無頓着になるのでしょうか。例えば、精神的に不健康であったり、薬物乱用問題を抱え込んだりしている親は、一貫して子どもの身体的または感情的必要に応じて面倒をみることができないのかもしれません。ある放任的な両親は、児童の発育についての知識を欠いています。他の人たちは、多忙な仕事、借金の支払い、家族を食べさせることで精いっぱいという状況にあります。

放任的な両親の子どもたちは、指導、養育、両親の世話を十分に受けられないので、しばしば自尊心が傷つけられたままで取り残されています。こうして問題行動を起こしたり、学校では成績不振となっていきます。

あなたはどのタイプの子育てでしょうか。これがすべてではありませんが、参考になればと思います。

「両親は家庭の光です。快活な言葉や心を和らげるような声で、その光を輝かせなさい。神に自制心を求め、すべてのとげを取り除きなさい。そのときみ使いは、あなたの光を認めて、あなたの家に住むでしょう。あなたが子供たちに与える訓育は、強く清らかな流れとなって、正しく治められた家から世へ出ていくのです。」

心を育てる家庭の教育 91 ページ

2019年5月31日

石川三育保育園 園長 富浜宗源